

# 平成29年度 学校経営方針

2017.4.3

たつの市立龍野小学校

調和のとれたところ豊かで自立した人づくり  
— 夢や志を抱き未来を切り拓く  
子供たちの「生きる力」を育む—

## 1 本校教育の基本像

### (1) 本校の教育基盤

歴史と伝統、文化漂う龍野の風土、先人の遺徳、開校以来143年の本校教育の歩みに学び、三木露風作詞である校歌の歌詞に心を通わせ、「きよき心と力」を学びのめあてに、知・徳・体の調和のとれたところ豊かで自立した児童の育成をめざす。

### (2) 校訓

**きよき心と力**

### (3) 児童の生活のめあて

きょう、ぼく(わたし)が学校へ来たことによって、  
学校が一つでもよくなるように

## 2 学校経営の基本方針

### (1) 教育方針

- ① 「キャリア形成を支援する」観点に立ち、生命の尊厳と人間尊重の精神を基盤とした教育活動を推進し、豊かな人間性や社会性を育む。
- ② 家庭や地域との連携のもと、子供たちの安全を守る取組を進めるとともに、学校全体が学習の場にふさわしく心がやすらぐよう環境づくりに努める。
- ③ 「生きる力」を支える確かな学力をつけるため、基礎・基本の徹底とこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。
- ④ 教職員一人一人が、教育の専門家としての教師力・授業力を存分に発揮し、地域に信頼される学校づくりに努める。

- ⑤ 学校の教育活動等に関する情報を積極的に発信するとともに、オープンスクール、学校評議員制度や学校評価システムを活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。
- ⑥ キャリア教育推進体制を整備し、保幼子ども園・小・中の連携を一層推進するとともに、就学前教育・小学校教育・中学校教育の滑らかな移行を実現し、児童のキャリア形成の支援と学力向上に努める。

## (2) めざす児童像

心身共に健康な子：かしこく、やさしく、たくましく

- ① 進んで考え 工夫し、表現する子（かしこい子）
- ② あたたかい心を持ち 人と協力する子（やさしい子）
- ③ 健康で ねばり強い子（たくましい子）

## (3) めざす学校像

人権尊重の精神に徹し、明るく、楽しい学校

- ① 磨きあい 互いにのびる学校
- ② 活力に満ちた 健康で情操豊かな学校
- ③ 花と緑の美しい環境の整備された 潤いのある学校
- ④ 地域・保護者から信頼される 開かれた学校

## (4) めざす教師像

教育は人なり

- ① 使命感や倫理観を持つ人間性豊かな教師
- ② 研修に励み、実践力の向上に努める専門職としての教師
- ③ 児童・保護者・地域・同僚に信頼される教師

### 3 本年度の教育目標並びに努力事項

## 確かな学力と豊かな心、健やかな体の調和を図り、自ら学び、考え、判断し、表現する児童の育成

(1) 「キャリア形成を支援する」観点に立ち、学力の向上をめざし、基礎基本の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみながら、主体的・協働的・創造的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

- ◆主体的・協働的・創造的な学習活動の充実（研究授業・授業研究会の実施、ことばの力の育成、キラキラタイムの充実、ノート指導等）
- ◆考える力・判断する力・表現する力を育成する（研究授業の実施、学習の見通し・振り返り活動の実施、実践的・体験的な学習場面の設定、対話的な学習の推進）
- ◆算数・理科教育の充実
- ◆学習習慣の確立（「家庭学習の手引き」を活用した自主的な家庭学習の励行）
- ◆読書活動の推進（1日30分以上の読書、図書室・図書館の活用、読み聞かせ）
- ◆情報活用能力の育成
- ◆コミュニケーション能力の向上を図る外国語活動の推進
- ◆全国学力・学習状況調査結果の活用

(2) 道徳教育や人権教育を推進し、互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切に  
する心を育む。

- ◆道徳教育・人権教育の授業実践と職員研修
- ◆思いやりやリーダー性の育成
- ◆体験活動の推進（環境体験事業3年、海に学ぶ体験事業4年、自然学校5年等）
- ◆福祉教育や特別支援教育の推進
- ◆兵庫版道徳教育副読本・地域教材の活用
- ◆あいさつ運動、無言清掃等

(3) ふるさと『龍野』に対する誇りや愛着を持たせるとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。

- ◆郷土に対する認識を深め、先人、偉人の生き方に学ぶ
- ◆ふるさと『龍野』に根ざした学習の充実
- ◆地域の人的資源・文化的資源・物的資源等の利用・連携・交流の推進
- ◆地域のよさを知り、伝える
- ◆地域のゲストティーチャーの活用

(4) 特別な教育支援を必要とする児童への一貫した支援・協力体制を構築する。

- ◆特別支援教育コーディネーターや支援員の効果的な活用
- ◆特別支援教育推進委員会の充実
- ◆特別支援学校や関係機関との連携
- ◆職員研修の充実と情報の共有

(5) 児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営を推進する。

- ◆生活指導委員会の充実
- ◆教育相談体制の充実（スクールカウンセラーや専門機関との連携）
- ◆児童と向き合う時間の確保（業務の工夫・改善）
- ◆問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応

(6) 家庭や地域と連携し、児童の安全を守る取組や健やかな体と心を育てる健康教育・安全教育・食育を推進する。

- ◆震災の教訓を生かした危機管理・防災体制の確立（連絡メールシステムの活用、避難訓練、引き渡し訓練等）
- ◆安全指導の徹底（情報教育、防犯教室、交通安全教室、下校指導等）
- ◆養護教諭と連携した健康安全教育の充実
- ◆栄養教諭と連携した食育の充実
- ◆新体力テストの実施

(7) 学力の向上をめざし、保幼子ども園・小・中の連携を推進する。

- ◆小学校教育から中学校教育への滑らかな移行の推進
- ◆中学校教育を見通した学力向上をめざす
- ◆支援を要する児童が円滑に進学できるように連携の推進
- ◆就学前教育から小学校教育への滑らかな移行の推進

(8) 教職員の資質と実践的指導力の向上

- ◆平素の授業の重視
- ◆教員研修の充実（研究授業の実施、教育機関からの講師招聘、研究紀要の発行、研究会への参加）
- ◆信頼される教師集団づくり（使命感と倫理観の保持、接遇の向上）
- ◆ICT活用指導力の向上
- ◆「英語科」のカリキュラム作りと指導法の研修

(9) 信頼される学校づくり

- ◆地域やPTAの教育力の活用
- ◆学校の情報発信の充実
- ◆オープンスクールの充実
- ◆学校評議員制度や学校評価システムを活用